

レンタルの 「見える化システム」

【すぐに利益を生み出す】システムのご案内

レンタルで「見える化」できる一例

全機械の稼働管理



手動作業の稼働管理



設備メンテナンス管理



バッチ作業の一元管理



その他に

温度管理と過熱管理
省エネルギー管理

電力の受電、電力管理
建築、土木工事の管理

など

8台から4096台までの稼働監視が可能 システム内容

パソコン 伝送装置 センサ 配線 材料 接続
ソフト 個別の設定 動作確認 一式でのレンタル

システム一式構成例 (64台管理の場合)



この状態で納品しますので、コンセントを差し込みただですぐに起動して使えます。

豊中計装の システムの特長

省配線

一対の電線で多くの信号を伝送



省スペースで配線可能

ノイズに強い

高圧配線近傍で使える耐ノイズ性

ノイズに強いから

- ・ 動力線ルートでの配線が可能
- ・ 誰でも手軽に配線して確実な管理が可能
- ・ 変更、追加増設が簡単

入り組んだ場所 スペースがない現場 過酷な環境

どのような場所でも使えます

レンタルの 3つのメリット

★すぐに運用可能！

- ・ハードとソフトの工事が一式ですので個々の打合せ、整合性確認等が不要で、納入後即運用が可能です。

★設計・検討が不要！

- ・ラインナップの中から指定、組合せを選択するだけでシステム設計等をする必要がありません。

★常に最新の管理が可能！

- ・その時点の最新の仕組み、センサを導入することで陳腐化しません。

運用までの流れ 5 ステップ

STEP1. 稼働管理の内容を決める

内容に応じて稼働信号取込方法やセンサを決定。必要に応じて最適なセンサ等をご紹介します。

STEP2. 内容に応じた信号を決める

基本はまず稼働に関連する内容をパソコンに取り込むため、何らかの形で接点信号として取り出す。(ON時間集計、ON回数の集計、必要に応じてアナログ信号)

STEP3. 信号の取出し方を決める

稼働管理信号・停止要因の信号取込み、センサを付けて稼働情報を取込む場合など用途に合わせて決定。

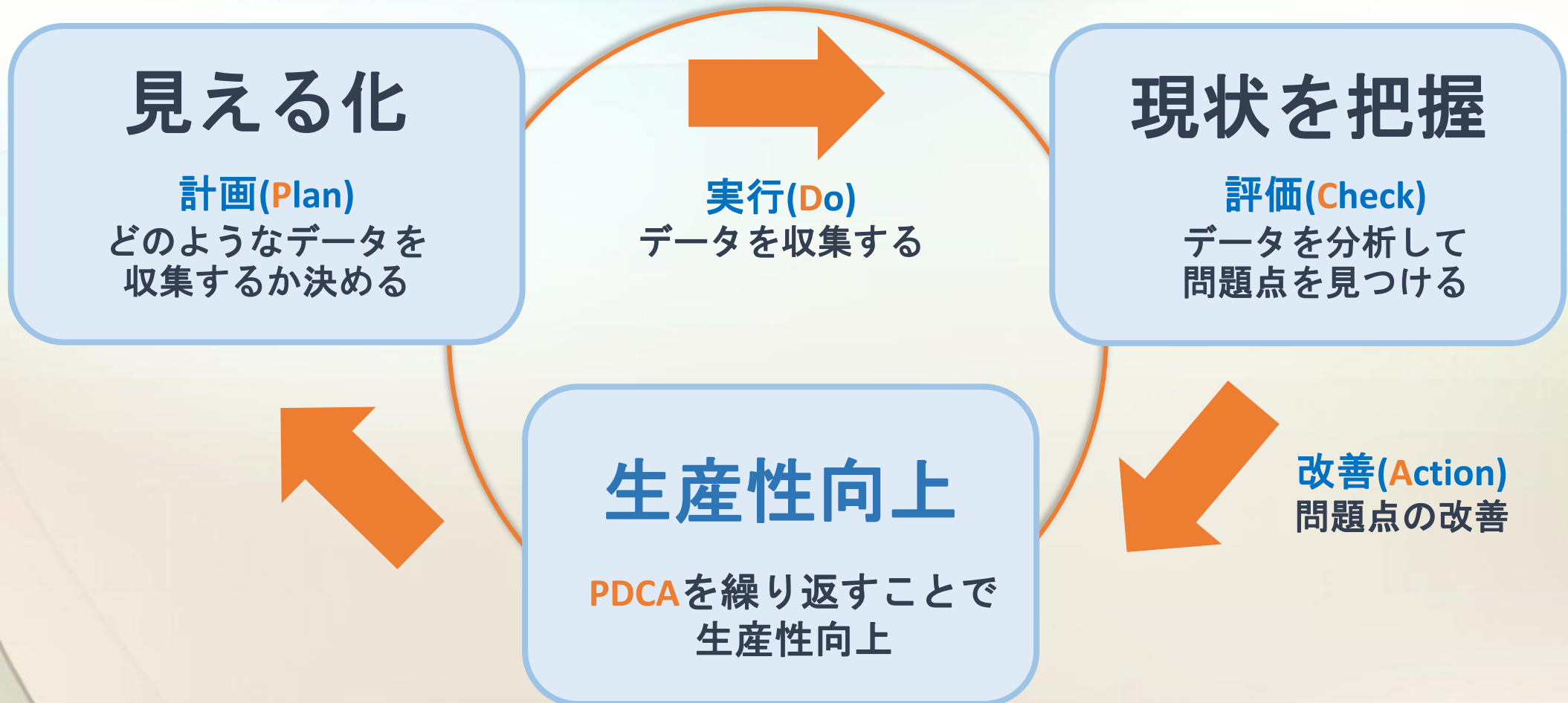
STEP4. 必要な管理点数のシステムを手配

稼働監視を始める機械の点数を決めて、レンタルの「見える化システム」の手配をする。

STEP5. 納入品内容確認、動作の確認

事前の手配、設定内容に基づいた内容の確認。接続・設定済みなのですぐに稼働管理動作の確認が可能。

「レンタルの見える化システム」でPDCA



システムを導入、PDCAを行うことで

生産性向上



コストダウン



利益アップ

【下記条件で1.5%稼働率アップした場合の利益】

工作機械	40台
時間チャージ	5,000円/台
月稼働	184時間(23日×8時間稼働)
レンタル代	210,000円

$40\text{台} \times 5,000\text{円} \times 184\text{時間} \times 1.5\% = 552,000\text{円}$

毎月 55万円コストダウン

$552,000\text{円} - 210,000\text{円} = 342,000\text{円}$

毎月 34万円利益アップ

